

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

被告人本人の上告趣意について。

論旨は、被告人の本件犯行前後の事情を述べて原判決を不服とし、よろしくお調べを願うというのであつて、量刑の不当を主張するものと思われるが、このような主張は上告の適法な理由には当たらないから、採用することができない。

よつて、旧刑訴第四四六条に従い主文のとおり判決する。

以上は、裁判官全員の一致した意見である。

検察官 岡本梅次郎関与

昭和二五年一月二八日

最高裁判所第三小法廷

裁判長裁判官	長 谷 川	太 一 郎
--------	-------	-------

裁判官	井 上	登
-----	-----	---

裁判官	島	保
-----	---	---

裁判官	河 村	又 介
-----	-----	-----